2022年2月7日

あやべ市民新聞(6面)に掲載されました

スポーツエールカンパニー

日東精工と日東公進が認定受ける

従業員の健康増進に積極的に取り組む企業をスポーツ庁が認定する「スポーツエールカンパニー2022」に、市内から日東精工（本社・井倉町、材木正己社長）と日東公進（本社・城山町、澤井健社長）の2社が選ばれた。

毎朝のラジオ体操に取り組む日東公進の社員ら。同じ取り組みは日東精工でも行われている（城山町で）＝日東精工提供

この制度の認定基準は「特定の従業員にとどまらず、企業、事業所等全体で推進している取り組みであること」「経営者の理解を得て、企業、事業所など内部の取り組みが明確化されていること」など6項目。

今年度は全国で685社、府内で13社が認定を受けており、市内は2社のみ。日東精工の認定は2年連続で、日東公進は今回が初認定となった。

日東精工は経営理念「我らの信条」に「健康増進」を掲げ、2019年にはグループ企業の社員が健康でいきいきと働くことができる会社づくりを目指すことを宣言。社内に健康経営推進委員会を発足し、「疾病発生予防・重篤化予防」「ストレス関連疾患の予防」「労働時間の適正化、ワークライフバランスの確保」を重点課題に掲げて取り組みを実施してきた。

具体的には毎朝のラジオ体操や体力年齢チェック、ウオーキングイベントなどを2社共通で取り組んでおり、同社では「国内外の日東精工グループ企業に健康経営を展開していきたい」としている。【髙崎健太】

©あやべ市民新聞社　無断複製・転載を禁ずる